

宗岡公民館通りから せせらぎの小径の 自然を訪ねて！

NPO法人エコシティ志木事務局長

青木 明雄



すみれ児童公園

今回は、宗岡公民館通りとせせらぎの小径に挟まれたあたりを宗岡第三小学校まで散策しました。

いろは通りの「宗岡公民館前」交差点から宗岡公民館通りを南に行き、「後口」の交差点を更に先に行くと宮戸橋通りにぶつかります。和光富士見バイパス予定の雑草地が横断する宮戸橋通りの先は畑が広がり、その先は旧堤防にぶつかります。ここは、見た目、緑がかなり残されたところですが、大半は和

(惣囲堤)と新河岸川の堤防の間には、前回の秋号に掲載しましたが、秋ヶ瀬取水堰から取り込んだ水の沈砂池があります。

沈砂池の西側には新河岸川の旧流路を利用した釣り堀があります。更にその隣は、宗岡第三小学校の校庭となっています。宗岡第三小学校の校庭と宮戸橋通りの間には、かつて農家だったと思われる敷地の広い家が数件あります。また、宮戸橋通りの反対側にも農地と農家があり、その先は、住宅地となっています。旧堤防(惣囲堤)の道路と新河岸川の堤防の間の低くなったところにたくさんの住宅があります。



宮戸橋通り (宮戸橋から)

光富士見バイパスの予定地となっています。旧堤防

もう一度、いろは通りに戻って、せせらぎの小

径を70m程進むと、斜めに横切るように和光富士見バイパスの予定地があります。柵で囲まれた予定地は、更地のままになっています。雑草が生え、それまでであった民家の樹木などが残っていて、それなりの広い緑地となっています。今回散策するエリアの真ん中を、このせせらぎの小径から宮戸橋通りの先まで、斜めに通り抜けることになっています。ほとんどの土地の買収が終わり、柵の中には入れませんが、道路ができるまでの間は、見通しの良い雑草地となっていると思います。



和光富士見バイパス予定地

宗岡公民館通りから1本西側の通りには、すみれ児童公園があります。小さな公園ですが、遊具の他に、園内には、藤棚やキンモクセイ、サクラ、モミジ、ケヤキそして、カイヅカイブキなどの木が植えられています。前回の「志木の生きもの調査」では、ウラボシチコグサやタンポポが沢山あったのを記憶しています。

この児童公園の通りには、田んぼや空き地がポツポツと残っています。児童公園の先を更に南に行った交差点のところには田んぼがあります。すみれ児童公園と同じくらいの広さの田んぼです。この道と宗岡公民館通りは、ほとんど並行していて、間には用水路があります。すみれ児童公園も、この田んぼ



すみれ児童公園の通りにある田んぼ

も用水路のところまでの敷地になっています。更に、次の交差点右には、小さな畑がありますが、この畑は、斜めに道路用地で切り取られています。道路用地は、ヤオコーの裏側まで斜めに横切っていて、広

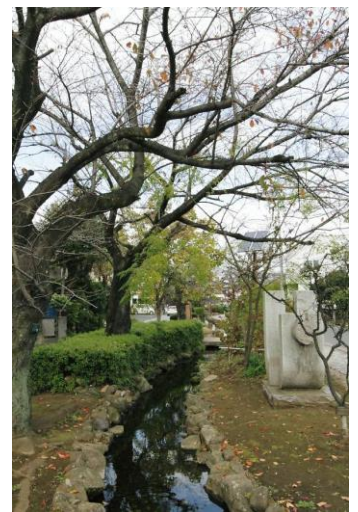
い雑草地となっています。更に進み、宮戸橋通りを超えた先で、宗岡第三小学校に突き当たります。宗岡第三小学校の周囲には、農家があり、広い農地や空き地が広がっています。児童公園のある通りと更に西側の通りとの間のヤオコーの裏側には、ナイター設備のあるテニスクラブがあります。このテニスクラブの周辺は、広い農地となっていて、数件の農



テニスクラブ周辺の農家と田んぼ

家があります。農家の屋敷林もかなり大きく、高さもあり、新河岸川の土手や、宮戸橋通りや児童公園のある通りからもこんもりした緑がよく見えます。このテニスクラブと旧堤防の間に一本道路があり、宮戸橋通りからせせらぎの小径に抜けています。この通りまで、数軒の農家と農地が広がっています。また、この通りに面した西側（旧堤防側）にもナイター設備のあるテニスコートがあります。以前は、駐車場となっていました。

今年は、柿の実りがいいのか、畑の中の大きな柿の木には沢山の実がなっていて、農家の入り口には、柿の実販売の木札がぶら下がっていました。最後に、せせらぎの小径ですが、この部分は、桜並木となっていて、真ん中に水路があります。このせせらぎの小径の下には大きな排水路があり、旧堤防の樋管を通して新河岸川に流れています。健脚の方は、桜の咲く頃に志木大橋から柳瀬川右岸を新河岸川合流点のいろは親水公園まで歩き、更にせせらぎの小径の桜並木を歩いて、終点となる蓮田通りからその先の浦和所沢バイパスの歩道橋を渡り、宗岡第二小学校を左に抜けて、富士見市の境まで歩いてみるのも楽しいのではないかと思います。約6kmの道ですが、地図の上でルートを描くと“？”マークのような形になります。“？”マークのままでなく、志木市の散策ルートとして名前を付けてやりたいですね。



せせらぎの小径